【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【公表番号】特表2012-520955(P2012-520955A)
【公表日】平成24年9月10日(2012.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2012-036
【出願番号】特願2012-500737(P2012-500737)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｈ　12/12　　(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　 1/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｈ　12/12
Ｈ０１Ｑ　 1/12　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年11月8日(2012.11.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電気通信塔（２００）のセクション（１００）を複数の中実壁で構成するための電気通信塔セグメント（３００）であって、
複数の電気通信塔セグメント（３００、３０１、３０２．．．）により前記電気通信塔の管状セクション（１００）を形成可能なように、前記電気通信塔セグメント（３００）は他の複数の電気通信塔セグメント（３０１、３０２）に取り付け可能であり、
前記電気通信塔セグメントは、凸状の第１の表面（３１０）を有し、
前記電気通信塔セグメントは第１の端部（５１０）と第２の端部（５２０）とを有し、
前記第１の表面（３１０）および第２の表面（３２０）は前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）まで広がり、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）の方を見たときに、漸増する外周を有し、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の表面の反対側に前記第２の表面（３２０）を有し、
開放型で成型された結果として前記第２の表面は平坦であるか、または一部平坦であり、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部から前記第２の端部まで延在する１つ以上の管又は管状の空洞を備えることを特徴とする電気通信塔セグメント（３００）。
【請求項２】
前記電気通信塔セグメント（３００）は、前記電気通信塔セグメント（３００）と同じ種類の、または同様の種類の、他の少なくとも１つの電気通信塔セグメント（３０１、３０２）に取り付け可能であり、
このような電気通信塔セグメント（３００、３０１、３０２）がいくつか配置されて、円錐台状の外面（３１０、３１１、３１２．．．）を描く電気通信塔セクション（１００）が形成されることを特徴とする請求項１に記載の電気通信塔セグメント（３００）。
【請求項３】
前記第２の表面は開口凹部を１つ以上備えることを特徴とする請求項１又は２に記載の

電気通信塔セグメント。
【請求項４】
前記電気通信塔の前記セクションを構成可能とするために、前記電気通信塔セグメントは、前記電気通信塔セグメントを別の電気通信塔セグメントに接続するために適した溝を備えた側面を少なくとも１つ有すること特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の電気通信塔セグメント。
【請求項５】
前記電気通信塔セグメントは、長さがほぼ９メートル、最も幅広の端部の幅がほぼ２メートルであることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の電気通信塔セグメント。
【請求項６】
前記電気通信塔セグメントは鉄筋コンクリート製であることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の電気通信塔セグメント。
【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか１項に記載の電気通信塔セグメント（３００、３０１、３０２．．．）を複数備えた電気通信塔セクション（１００）。
【請求項８】
前記電気通信塔セクションの断面が外周円を形成することを特徴とする請求項７に記載の電気通信塔セクション。
【請求項９】
前記電気通信塔セクションは、請求項１乃至６のいずれか１項に記載の電気通信塔セグメントを８つ含むことを特徴とする請求項８に記載の電気通信塔セクション。
【請求項１０】
請求項４に記載の電気通信塔セグメントを含み、
前記電気通信塔セグメントは、前記電気通信塔セグメントは、他の電気通信塔セグメントに、コンクリート又は接着性を有する別の材料の注入によって接続されるために適していることを特徴とする請求項７乃至９のいずれか１項に記載の電気通信塔セクション。
【請求項１１】
前記電気通信塔セクションは電気通信塔のベースセクションを形成するようになっていることを特徴とする請求項７乃至１０のいずれか１項に記載の電気通信塔セクション。
【請求項１２】
複数の中実壁を有する電気通信塔（２００）であって、
前記電気通信塔の電気通信塔セクション（１００）を形成する複数の電気通信塔セグメント（３００）を備え、
各々の前記電気通信塔セグメントは凸状の第１の表面（３１０）を有し、
各々の前記電気通信塔セグメントは第１の端部（５１０）と第２の端部（５２０）とを有し、
前記第１の表面（３１０）および第２の表面（３２０）は前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）まで広がり、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）の方を見たときに、漸増する外周を有し、
各々の前記電気通信塔セグメントは、前記第１の表面の反対側に前記第２の表面（３２０）を有し、
開放型で成型された結果として前記第２の表面は平坦であるか、または一部平坦であり、
各々の前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部から前記第２の端部まで延在する１つ以上の管又は管状の空洞を備えることを特徴とする電気通信塔（２００）。
【請求項１３】
電気通信塔（２００）の電気通信塔セクション（１００）を複数の中実壁で構成するための電気通信塔セグメント（３００）の製造方法において、

前記通信塔セグメント（３００）は別の通信塔セグメント（３０１、３０２）に取り付け可能であり、これによりそれらの複数の通信塔セグメント（３００、３０１、３０２．．．）が前記通信塔の中空セクション（１００）を形成でき、
前記電気通信塔セグメントは第１の端部（５１０）と第２の端部（５２０）とを有し、
第１の表面（３１０）および第２の表面（３２０）は前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）まで広がり、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部（５１０）から前記第２の端部（５２０）の方を見たときに、漸増する外周を有し、
前記電気通信塔セグメントは、凸状の前記第１の表面（３１０）と、前記第１の表面の反対側の前記第２の表面（３２０）と、を有し、
前記電気通信塔セグメントは、前記第１の端部から前記第２の端部まで延在する１つ以上の管又は管状の空洞を備え、
前記電気通信塔セグメントが開放型で成型されることを特徴とする製造方法。
【請求項１４】
複数の中実壁を有する電気通信塔（２００）の建造方法において、
－電気通信塔セクション（１００）を形成するために請求項１乃至６の何れか１項に記載の電気通信塔セグメント（３００）を複数組み付けるステップと、
－前記電気通信塔セクションを前記電気通信塔のセクションとして用いるステップと、
を含むことを特徴とする方法。